

事業所名		スパークスタジオみなみ野 Rainbow Kids						支援プログラム			作成日	2025年	2月	1日
法人（事業所）理念	"あなたらしく生きていけるために"を法人理念とし、自立へ向けて、子どもの心と一緒に歩いていく。一人ひとりの色を認め合い、それぞれがより輝きを放つためのお手伝いをする。													
支援方針	スパークスタジオみなみ野 Rainbow kids では、子ども達に共動・共感しながら、ありのままの姿を認め、運動と関わりを増やす遊びを行います。個々の発達段階や発達特性を踏まえて、療育士が子ども達と一緒に思い切り体を動かし、運動遊び・関わり遊びを行うことで、脳機能の発達を促し、他者の気持ちや考えを受け止め、自分の気持ちや考えを適切な表現で伝えることが出来るコミュニケーション力を育てていきます。													
提供方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ハーバード大学のジョン・レイティ博士による脳科学の研究によって裏付けされたメソッド「スパーク運動療育®」による療育を中心に提供しています。 ・療育士と基本1対1で行う「個別療育」、他児との関わりを学ぶ「小集団療育」、療育士が他児との関わりを橋渡しする「シェアクラス」を通して、個々の発達に応じた支援を行います。 ・フィールドの中で、五感を存分に活用しながら、自然遊びを行ったり、小集団で身体を動かしながら、関わり方やコミュニケーションを学んでいきます。 ・その他、机上の活動では、個々の課題に応じて、非認知能力を鍛える遊びや微細運動、教科の学習を取り入れながら支援を行っています。 ・季節や地域の行事に合わせて、個別の目標や課題を設定した、様々なイベントや余暇活動を行います。 													
営業時間	【平日】	10時	45分	から	12時	20分	まで	13時	30分	から	19時	5分	まで	
	【土日・祝】	13時	30分	から	19時	5分	まで	14時	30分	から	18時	5分	まで	
送迎実施の有無	あり・なし													
支 援 内 容														
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ◎身支度や手洗い等の衛生面に関する活動、排泄、活動中の片付けに関する支援を行っていきます。 ・意思表示が困難である子どもたちの発達の過程、特性をに配慮し、小さなサインから心身の異変に気付けるよう支援をしていきます。 ・通所している子ども達の基本的な生活リズムを運動習慣を通して、育てていきます。 ・お子様ごとの生活での困り感に寄り添いながら、物事の優先順位や時間管理等、自己調整に必要な力を育み、一緒に考え、学んでいきます。 												
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ◎有酸素運動を行いながら、脳の可塑性を高めていくとともに、コントロール運動、バランス運動、協調運動を組み合わせ、運動機能、感覚機能の向上を目指します。 ・一人ひとりの発達特性や発達段階に応じて、運動遊びを行い、身体を動かす意欲を引き出しながら、スモールステップで運動への成功体験を積み重ねていきます。 ・感覚特性に配慮しながら、視覚、聴覚、触覚、さらには固有受容覚、前庭感覚を刺激し、それらの感覚機能を十分に活用した感覚情報の処理を支援していきます。 												
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ◎運動あそびや他者との関わりを通して、特性や発達段階を踏まえた認知機能、非認知能力の向上を目指し、知覚情報を的確に処理することができるように支援していきます。 ・注意や興味・関心の幅を広げながら、他者の遊びを観察、模倣したり、自身で考え、感じ、新たな気づきが得られるよう支援していきます。 ・色、形、大きさ、数字、時間、空間、感情、身体等の概念を身体運動と結びつけながら学習し、様々な概念やイメージを形成する力を育てていきます。 ・運動あそびによって、同時処理や実行への機能を高めたり、特性に応じた、環境調整を行いながら状況に応じた調整が出来るように支援します。 												
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ◎他者に思いを伝えたいという気持ちを育みながら、安心して他者と関われるよう、個々の状態に合わせたコミュニケーション手段を用いながら、思いや考えを共有していくことを目指します。 ・興味・関心の中で欲求を十分に引き出しながら、運動あそびを仕掛けていき、言語・非言語での表出を促すことで、他者に思いを伝える喜びを感じることが出来るように支援していきます。 ・遊びの中での経験によって、言葉の意味を結び付けたり、療育士が感情や気持ちの代弁、言語化等を行いながら関わりを実践することで、認知発達とともに、言葉の発信力や受信力を育てていきます。 ・運動あそびや関わりの中で、相手の発信内容を理解したり、自身の思いや考えを言語化しながら、双方向的なやりとりを行うことが出来るように支援していきます。 												
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ◎運動あそびを通して他者との関わりを形成し、自己の理解や感情と行動の調整について支援をするとともに、個々の状態に応じて、社会に必要な力を学習していきます。 ・運動遊びを通して、他者の動きを模倣したり、遊びや空間を共有することで、社会性や対人関係への意識の芽生えを促していく環境設定や関わりを実践していきます。 ・子どもの発達段階に応じて、感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びを設定し、見立て遊びやふり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びへ促すための遊びを行いながら、徐々に社会性の発達を育てていきます。 ・療育士が積極的に遊びに介入しながら役割分担やルール、言葉を理解して遊ぶこと、他者と協調して遊ぶこと、感情を調整することから社会性の発達を支援していきます。 ・集団や他者との関わり、遊びの経験を通して、自身や他者の思いに気づき、自身と他者との違いを理解したうえで、関係を築いていくことが出来るよう支援していきます。 												
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や学校、園での様子、事業所での様子を保護者と共有し、支援方針や家庭でのサポート方法等不安や困り事に応じて、保護者様の相談時間を設けていきます。 ・関係機関との連携による支援体制の構築を行い、発達上の課題や支援方法についての助言を行います。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのライフステージに応じて、移行支援シートの作成や移行先の関係機関と連携を図り、支援内容等の共有や支援方法の伝達を行います。 											
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の状況に応じて、医療機関、保健所、児童相談所等の専門機関と情報を共有し、連携を図っていきます。 ・余暇活動等、地域イベントへの参加を通して地域との交流の機会を提供し支援します。 ・地域の自立支援協議会等への参加を行います。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・スパーク協会本部研修受講 ・年2回スキルアップ研修 ・年1回OJT研修 ・八王子市発達障害児地域支援講習会「ハッチネットセミナー」を受講 ・支援の振り返りやケース会議を実施 ・虐待防止研修、事故防止研修等、事業所内で研修会を実施(月1) ・事業所内で運営会議を実施(月1) 											
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・動物園遠足 ・調理イベント ・ハロウィン・クリスマス・節分等、季節によるイベント ・わくわくピレッジでのプログラム体験 ・陵南公園での水遊び・探検 ・宇津貫公園での秘密基地作り 													